



上/クロハナムグリとガズミ
左/ムクドリ
右/ヤマザクラとコナラなどの新緑
センターエリアにて



足元に草丈の低い草花が次々と咲き、木々の枝先にほのかな色が見え始めたと思っていたら、森はそれぞれの色合いの芽吹きで淡いグラデーショナルに塗り替えられました。今年には本当に寒い冬でしたが急に春を飛び

そして、また始まる

～森に新しい命があふれる季節となりました～

越えたような陽気が数日続いた3月。生きものたちも大慌てだったのではないでしょう。木々も昆虫も野鳥たちも同調するように育っています。森では子育て中の野鳥たちが忙しく飛び回りせつせとヒナにエサを運んでいます。エサには葉を食べるガの幼虫が多く含まれ、木々の大切な葉を守る一翼を担っていると言えます。春はあつという間、4月下旬には初夏が見え隠れします。草本の花から木の白い花へ主役は移り、深みを増していく緑の葉はそれを引き立ててくれます。春がせせらぎから急流へと流れを進めるように行き、やがて梅雨。初夏から夏は大河のようにゆったりと、恵みの雨を受け森には命があふれていきます。成虫越冬をしたキタテハやキタキチョウ。幼虫越冬から春一番に成虫となったミヤマセセリ。蛹で冬を越し

たアゲハの仲間も次々と成虫になり、卵で冬を越したオオミドリシジミなどゼフィルスたちが舞う、年に1度の季節を迎えます。こうして毎年繰り返される自然の廻り。同じ場所と同じ花を見つけると、「今年も会えたね。」とホッとします。当センターは今年25周年。観られる動植物に変化はありませんでしたが、この先もずっと豊かな自然が新しい季節を迎えることができますように。

その他のおすすめ

双眼鏡の無料貸出
センター窓口にて受付
※詳しくは、センターまで
ガイドウォーク実施中
毎月第一土・日 13:30～ 無料

Facebook 随時情報更新



アオイスミレ
画 堅香子の会

お知らせ
お願い

いきものふれあいの里の英語版のパンフレットを作成します。

海外の方の来訪が多くなってきました。そこで、いきものふれあいの里を紹介するパンフレットを作成します。



解説看板の修繕を行います。

- ・狭山湖 左岸
- ・虫たちの森
- ・湿生植物の里



狭山丘陵

出前講座をご利用下さい。



狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に知って頂きたいと思い企画しております。